

SHIKOKU
INFRA
DIGITAL
TRANSFORMATION

令和8年1月7日

四国地方整備局

松山河川国道事務所

インフラDX省人化モデル工事 の現場見学会

デジタルトランスフォーメーション

《四国内の建設会社、愛媛県内公共工事発注者を対象》

このたび、「インフラDX省人化モデル工事」において、現場見学会（最新技術の体験見学会）を開催します。

この見学会は、地域の建設業の皆様が「使用してみたい」と思う最新の2技術について現場で実演し体験して頂く予定としており、四国各地から33社、約80名の技術者と愛媛県内公共工事発注者8機関、約40名が参加されます。
※詳細は、別添をご参照ください。

記

1. 開催日時：令和8年1月16日（金）

※小雨決行、荒天中止

2. 開催時間：13:00～15:00

いまばり にや

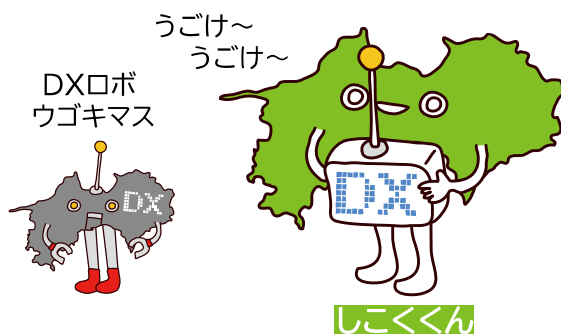
3. 開催場所：愛媛県今治市新谷

いまばりどうろ いまばりあさくら

今治道路 今治朝倉インターチェンジ建設現場

※会場は「県道155号今治丹原線」の西側

4. 対象者：四国内の建設会社、愛媛県内公共工事発注者



※ 本施策は、四国圏広域地方計画[No. 5 地域の自立的・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト]の取組に該当します。

(発表先)愛媛番町記者クラブ



【問合せ先】（◎は主な問合せ先）

四国地方整備局 松山河川国道事務所

副所長（道路）	石川 英治（いしかわ えいじ）	（内線 205）
◎事業対策官	南原 道昭（みなみはら みちあき）	（内線 208）
工務第二課長	清水 康治（しみず こうじ）	（内線 411）

TEL：089-972-0034（事務所代表）

089-972-0613（フロア・調査課直通）

インフラDX省人化モデル工事 現場見学会のご案内

愛媛県今治市の今治道路で実施中の「インフラDX省人化モデル工事」において、現場見学会（最新技術の体験見学会）を開催します。

当工事で使用する以下の最新の技術を、現場で実演！

①e-Standダッシュボード、カメラ、サイネージなどを活用した情報共有による現場管理

②ペイロードと運行管理ソリューションによるダンプの運行管理、施工管理の効率化

活用を検討されている方にとっては、大変貴重な機会となりますので是非、ご参加をお願いします。

さらに、受注者の株式会社大旺の協力のもと、下記の技術についても出展しますのであわせて見学してください。※出展内容の参考として裏面参照

①Smart 高精度測位端末LRTK ②ICT建機工事現場による省力化

③建設3Dプリンター ④サイバー建設現場 ⑤3Dガウシアン・スプラッティング

⑥四足歩行ロボット

○開催場所：愛媛県今治市新谷 ※会場は、今治朝倉インターチェンジ建設現場

○開催日時：令和8年1月16日（金）13：00～15：00

※小雨決行、荒天中止

○対象者：四国内の建設会社・愛媛県内公共工事発注者

※駐車場は準備しておりますが、極力乗り合わせでのご来場にご協力をお願いします。

○問合せ：四国地方整備局 松山河川国道事務所 工務第二課

TEL：089-972-0259

【位置図】



この地図は、国土地理院の地図に加筆したものです。

【参加申し込み】

スマホで、下記の二次元コードを読み込み、入力フォームに所属、氏名を記入してください。



申込み終了

<https://forms.office.com/r/TdhKWGVCWp>

申込み期限：令和8年1月5日（月）

【開催者】 株式会社大旺（令和7年度 今治道路小泉地区改良工事）

国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所

【インフラDX省人化モデル工事とは】

地域の建設業が使用可能な最新技術を活用する工事

《背景》

- 建設業の担い手の中長期的な育成・確保のためには、新しい技術の導入による建設産業の生産性向上が必要



- 生産性の向上、省人化を目的に新たなデジタル技術を活用し、働き方改革に取り組むことを促す。
- 地域の建設企業が新しい技術にチャレンジするきっかけを作るために、工事で試行する。
- 他の工事、地元建設企業への普及・展開を図り「働き方改革」、「生産性向上」、「省人化」へつながる取り組みとなるよう進める。



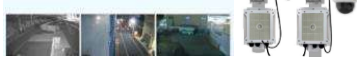
インフラDX省人化モデル工事活用技術の概要

現場の多種多様な情報をひとつにする！

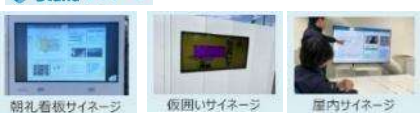
(株) ネクストフィールド



WEBカメラ



e-Stand サイネージ



◇クラウドで連携して現場の状況を本社でもサポート！

e-Standダッシュボード、カメラ、サイネージなどを活用した現場業務の改善や現場との情報共有による一体感のある現場管理を実現

施工計画書、作業手順書、翌日の作業予定、図面確認、出来形管理等、現場の情報を全員がクラウド上で共有でき、バックオフィスで現場をフォロー！

ダンプ運行管理ソリューション

Solution Linkage Mobile

日立建機日本(株)



手軽に、現場の見える化



◇手軽に見える化！位置情報を活用し生産性と安全性向上！

モバイル端末等を活用した施工管理支援システム。

スマートフォンを起動するだけで！

位置情報を活用し、施工管理やダンプトラックの運行管理関係者への注意喚起などワンストップで解決！

- ダンプの運行状況をリアルタイムに確認でき、作業状況（発生土量）に応じた運行管理を行い、常に最適なダンプ台数を確保し、運搬した台数・土量を自動集計！
- 関係者へのメッセージ通知

インフラDX見学会 各ブース概要

【協力】



株式会社 大 旺

四足歩行ロボット「Spot」

鹿島建設(株)

四足歩行ロボット「Spot」は、軽快で自由度の高い動きが可能でその能力を活かした活用事例は既に世界中で多く知られています。遠隔地で今まで人が実施していた業務を代行させることで業務の効率化を図りたい。危険な場所へ人より先に向かわせて現場を確認させることで人の安全を守りたい。ルーチンワークにSpotを活用することで人件費を削減したい。など、Spotの可能性はあなたのアイデアによって無限に広がります。



『新世代ICT油圧ショベル』最新機能の実演

コマツカスタマーサポート(株)

- ・3Dマシンコントロール_作業機操作のセミオート化で経験が少なくてもストレスなく作業をこなせます。
- ・自動旋回機能_ダンプ積み込み作業のセミオート化を実現、積み込み旋回や戻り旋回という気を遣う作業の負担軽減
- ・3Dジオフェンス_高さ、深さ、前方、後方、側面に作業制限平面を作成でき、制御範囲に近づくとき自動で停止します。



ラジコン油圧ショベル

四国建販(株)

キャタピラーの新型油圧ショベルは設計段階から遠隔操作（ラジコン）を考慮した設計。前もって受信機を複数の機械に取りつけておけば、災害時に道路が寸断され機械の輸送が困難でも災害現場に最も近い機械に送信機のみを持っていきペアリングすることで遠隔操作が可能となります。



3Dガウシアン・スプラッティング体験

㈱ジッタ

3Dガウシアン・スプラッティングは、急速に注目を集めている新しい3D表現技術です。複数の写真やスキャンデータから得られた点群データを「ガウス分布（ぼかした点）」として扱い、高速かつ高品質に3Dシーンを可視化します。点群と点群の間を補完する表示機能を新たに搭載。拡大したときに見えにくかった、境界やブロックの角など鮮明になり、精度の高いレス作業が実現します。



サイバー建設現場

㈱飛鳥建設

「サイバー建設現場」ではCADソフト・高性能PCが不要で、インターネット環境だけでクラウド上のBIM/CIMモデルを操作・確認可能なシステム。4Dにも対応し、過去の実績モデル⇒現在モデル⇒未来の計画モデルのように時間軸を操作でき、施工計画の作成や協議、教育などの場面での活用、作業所業務の効率化や情報共有の迅速化に大きく貢献しています



建設3Dプリンタによる実演

㈱西田興産 『Polyuse』

本技術は、3次元図面データに基づいてモルタルを積層造形できる建設用3Dプリンタ技術で、従来は、現場打ちコンクリート工に対応していた。本技術の活用により、型枠なしでモルタル練り混ぜから造形を自動で行うことが可能となり、省力化となるため、施工性の向上が図れます。



高精度測位端末 L R T K

レフィクシア(株)

みちびきのCLAS（センチメートル級測位補強サービス）に対応したGNSS受信デバイス「LRTK Phone 4C 圏外対応」。この製品は、アンテナとバッテリーが一体型の小型デバイスで、iPhoneに装着することでCLASによる高精度測位が可能となり、専用アプリを使って高精度位置情報を付与した写真を撮影したり、3D点群データを取得したりすることができます。

